



物流 事情



インド チェンナイ

BOP層実態調査レポート

チェンナイの輸送システム

チェンナイ大都市圏(CMA)では、道路と鉄道の交通網が利用できる。



バス

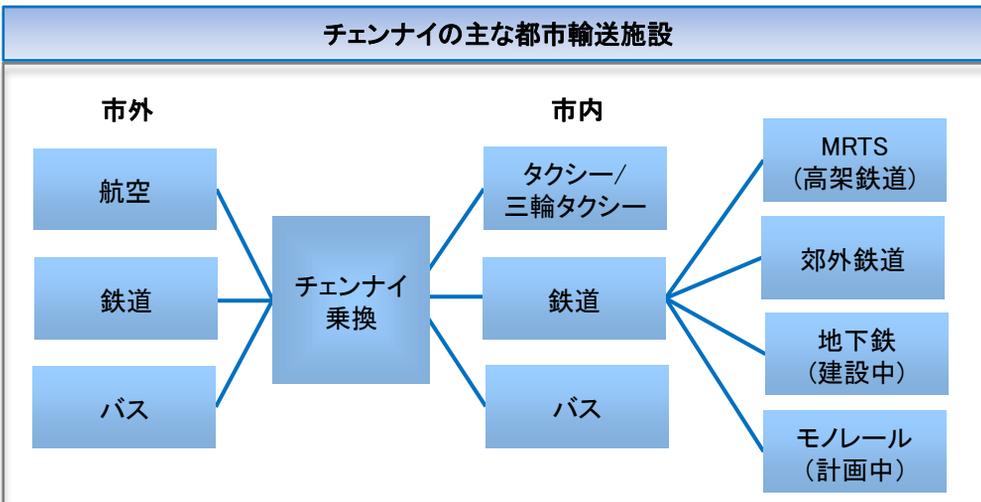
チェンナイでは、バスが主要なかつ低料金の輸送手段である。Metropolitan Transport Corporation(MTC)が市内と郊外路線を運営している。MTCは622を超える路線で約3,250台のバスを運行し、一日約435万人を運んでいる。一方の、State Express Transport Corporation(SETC)は、タミルナド州で長距離バスを運行し、主要都市や史跡、宗教施設、商業施設とを結んでいる。なお、Chennai Mofussil Bus Terminus(CMBT)は重要なバスターミナルの一つで、チェンナイ発の全てのバスの出発地点となっている。



鉄道

チェンナイ郊外を走る鉄道とMass Rapid Transit System(MRTS)等の鉄道がある。全体で延べ900キロメートル、約450本を運行し、毎日約150万人が利用している。MRTSは延長19.34キロメートルで、毎日約7.7万人が利用している。

チェンナイの主な都市輸送施設



タクシー

タクシーと三輪タクシーは、主に単身の乗客や家族連れに利用されている。乗合タクシーも導入されており安価な短距離輸送手段となっている。乗合タクシーの乗客は、路線のどこでも自由に乗り降りができる。



乗車料金



チェンナイMTC路線の料金は段階方式で計算される(各段階は約2キロメートル)。路線は最大30の段階で構成され、初乗り最低運賃は3.0ルピー、運賃の上限は14.0ルピーである。



下の表は、チェンナイのMRTS料金である(2102年8月現在)。

距離 (km)	料金表			
	1等車		2等車	
	大人	子供	大人	子供
1-5	45	45	4	4
6-10	45	45	4	4
11-15	55	45	5	4
16-20	80	55	6	4
21-25	85	55	7	4



出所: [http://en.wikipedia.org/wiki/Mass_Rapid_Transit_System_\(Chennai\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Mass_Rapid_Transit_System_(Chennai))

*インドルピー換算レート 1ルピー=約1.43円(2012年8月末レート)

発券システム



バスは通常紙の切符が用いられている。MTCは紙切符の廃止を目指し、4年前に電子発券機 (ETM) を導入し、2,200台を設置したが、使い方がまだ理解されておらず、また保守が不十分なこともあり、ETMの普及は進んでいない。SETCも郊外路線のオンライン発券のためのウェブサイト(www.tnsto.in)を運営している。



乗車券の多くは窓口で発行されている。インド鉄道はオンライン発券用ウェブサイト (www.irctc.co.in) を運用している。Southern Railwaysは最近、スマートカード機能を利用できるいくつかの駅で自動発券機を導入している。





利用者の声と見解

チェンナイの公共輸送システムの効率は、市内を走る自家用車の増加によって間接的に判断することができる。2011年末時点で、市内の二輪車は約1,214万台、車両の総台数は約1,475万台弱であった。

この数字は、公共輸送手段が十分に整備されていないため、自家用車を利用せざるを得ないという現状が反映されている。世界銀行の調査によれば住民が選ぶ移動手段比率は右の通りである。

徒歩、自転車と公共交通機関による移動手段が計86%となっている。なお、低所得層は他の層よりも公共交通機関(特にバス)を利用している。

徒歩	30%
自転車	14%
MTCバス	38%
郊外鉄道	4%
二輪車	7%
自動車	2.5%

N氏(チェンナイ在住)

マーケティング会社の幹部であるN氏は、仕事でタミルナド中を旅行する。バスや鉄道、自動車を利用するが、鉄道切符が確保しにくいこともあり、よく利用するのはバスである。バス代に月平均500ルピー、鉄道代に300ルピーを使っている。



J氏(チェンナイ在住)

ビジネスマンのJ氏は、鉄道での移動を好む。オンライン発券システムで切符を予約するが、時々ウェブサイトが利用できない問題が起きる。同氏は、客車を改善すべきだと強く感じている。また、一般の人にも分かるようにオンライン発券システムをもっと簡素化すべきだと思っている。



ビジネスチャンス

公共輸送システムは、改善の機会があらゆるレベルで存在するが、公共財であるため変更/改善に関わる重要な要因は料金が受け入れられるかどうかとなる。鉄道は政府が運営し、各州はバスサービスを行う会社を有している。これらの機関による機材の購入は、政府の調達規則に則って行われる。一方で、民間バスサービス会社は、それぞれが自由に比較的早く購入判断を下している。



チェンナイ郊外鉄道の発券機

チェンナイ郊外鉄道の発券窓口



バスチケット(紙)の発券機

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。